



3月18日、大阪駅に地下ホームが開業します!

大規模再開発が進む「うめきた2期地区」のまちびらきに先駆けて、3月18日(土)に大阪駅が拡大開業します。地下ホームが誕生し、関西国際空港や和歌山方面などへ大阪駅を起点とした移動がさらに便利になります。

2月5日に一般公開された地下ホーム。上部のデジタルサイネージなど、近未来的なモダンデザインが特徴

地下ホームは2面4線で、大阪駅の既存ホーム西側に西口改札を新設し、改札内地下通路でつながります。これまで大阪駅に停車しなかった特急「はるか」「くろしお」が停車し、関西国際空港駅への所要時間が現在より20分短縮し47分、和歌山駅へは33分短縮して57分になります。また、新大阪駅～久宝寺駅間を運行している、おおさか東線の列車も大阪駅に乗り入れます。

JR西日本が様々な企業・団体と共創する最先端技術にも注目です。車両や編成に応じて自在に開く位置が変わる世界初方式の「フルスクリーンホームドア」をはじめとしたデジタル技術やサービスを提供していく予定です。



春はお引っ越しのシーズンです 住所の異動は区役所へ届出を!

【転入届】他の市区町村から北区へ引っ越してきました

※大阪市外からの引っ越しは、事前に住所地で転出届が必要

【転出届】他の市区町村へ引っ越します

※大阪市内の他の区への引っ越しは、新住所地の区役所での届出のみ必要です

【転居届】北区内で引っ越しました

問 戸籍登録課 ☎06-6313-9963
☎06-6362-3822

●届出の際には、本人確認書類(マイナンバーカード・住民基本台帳カード・運転免許証・健康保険証・パスポート等)をお持ちください。

●届出と同時にマイナンバーカードの住所変更を行いますので、お引っ越しされる方全員のマイナンバーカードをお持ちください。(暗証番号の入力が必要)

※ご本人が来庁できない場合、一部のお手続は後日の来庁をお願いする場合があります

●住所の異動に伴う他の届出(国民健康保険・介護保険・児童手当や医療助成)についても、必要に応じて手続きを行ってください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs③

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。

株式会社猫舌堂

社長の柴田敦臣さん



食べにくさの悩み支援 がんの体験活かし起業

口が開きにくい、飲み込むのが困難、箸やスプーンがうまく使えない……病気などで食べることに悩みを持つ人々を支援しようと、中之島に生まれた会社です。使いやすいスプーンやフォークなどの開発・販売と、同じ悩みを持つ同士がつながる場づくりを手がけています。

社長の柴田敦臣(あつこ)さんは関西電力病院の看護師でしたが、2014年、40歳の時に耳下腺がんに。手術後、顔の左半分が麻痺して食べ物を噛んだり飲み込んだりしがづらくなりました。家族以外との食事を避けるようになり、孤立感にも悩みました。

が、同じ境遇の人たちとブログなどを通じて出会い、前向きに生きる勇気を取り戻します。「当事者が悩みを分かち合って、生きる力を得る場をつくりたい」と、関西電力の社内ベンチャーに応募し、2020年に会社を設立しました。社名は舌下腺がんの体験をブログで発信していた荒井里奈さんのハンドルネーム「猫舌」から。荒井さんには顧問として会社に参加してもらいました。



iisazyのスプーンとフォーク



iisazyで楽しそうに食べる「猫舌さん」こと荒井里奈さん。2022年1月に亡くなりました

事業の第一弾が、柴田さんや荒井さんの経験を活かしてデザインした小型のスプーンとフォークの販売。「いいさじ加減」の意を込めて「iisazy(イイサジー)」と名付けました。子どもやお年寄り、食べ急ぎを防ぎたい人にも愛用されています。

様々な病気の経験者が食の悩みや工夫を語り合うウェブマガジン「一食十色(いっしょくといろ)」も発信しています。

柴田さんの信条は「生きることは食べること」。当事者の実感や医療従事者のスキルを活かした支援で、誰もが自分らしく食を楽しみ、より良く生きられる社会をめざしています。

株式会社猫舌堂 中之島3-6-16 ホームページ▶
※問合せはメール ☎contact@nekojitadou.jp



「一食十色」▶

TTホールにやってKITA! ドリームダンスカップ

出場チーム
募集!

「北区子どもたちの夢づくり事業」の一環として、ダンス大会の参加チームを募集します。TTホールの本格的な照明や音響を体験してみませんか?

📅 8/8(火)13時～ 📍 TTホール(中央区大阪城3-6)

【内容】参加チームによるダンスバトル

【参加条件】メンバー全員が20歳以下で2名以上30名程度のチーム(原則として区内在住・在学・在勤のメンバーを1名以上含む)であることなど
※その他の参加条件は北区ホームページでご確認ください

【参加特典】1～3位のチームには記念品を贈呈します。また、出場した全チームに審査員からの評価コメントをお渡しします。

【審査員】審査員長MUSCLE先生(X ONE FAM)他2名

【定員】20チーム(申込多数の場合は動画審査を行います)

【申込】4/14(金)まで ※ダンスの種類は問いません

詳細は北区ホームページをご覧ください。

問 政策推進課 ☎06-6313-9743 ☎06-6362-3821

HPIは

こちら▶



日曜日に区役所を開庁します(一部業務)

📅 3/26(日)・4/2(日)・23(日)9:00～17:30
※上記以外にも、毎月第4日曜日に開庁しています

【日曜開庁で取り扱う業務】

●転入・転出などの届出、出生・婚姻などの戸籍の届出、印鑑登録、戸籍謄抄本・住民票の写し(他市町村分除く)等の証明書の発行など

問 戸籍登録課 ☎06-6313-9963

問 総務課 ☎06-6313-9625 ☎06-6362-3821

●国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療制度の各種申請・届出など

問 保険年金課

☎06-6313-9956

※取り扱えない業務もありますので、詳しくはお問合せください



あなたの夢は? スポーツを通して子どもたちに「夢を持つ大切さ」を体験してほしい



浦本学さん

スポーツドリーム施術院(天満3)の院長としてアスリートの体のケアを手がけながら、スポーツと社会を結び活動にも力を入れています。

奈良出身の41歳。大学生まで野球をしていた経験を活かしてスポーツジムのトレーナーとして働きましたが、アスリートの体の悩みに直面。知識を深めるために柔道整復師の資格を取り、整骨院を開業しました。

2011年から北区を本拠にしています。トレーナー時代から交流のあるテ

コンドーの五輪銅メダリストで、天満でスクールを運営する岡本依子さんの東日本大震災復興支援活動を手伝ったのがきっかけでした。

一流アスリートに接して、「彼らが競技生活で得たものを多くの人に伝えたい」と、YouTube「アスリートの声」で動画を発信しています。サッカーの大久保嘉人さん、競馬騎手の福永祐一さんらが登場しました。インタビューから編集まで一人でこなします。

また、2児の父親として子どもたちにできることがないかと、元Jリーガーの田中裕介さんと一緒に「KANSAI SOCCER FES」を立ち上げました。サッカー選手をめざす子どもたちとJリーガーが交流

試合をするイベントです。昨年11月、長居公園のヨドコウ桜スタジアムで第1回を開催しました。「憧れの人や身近にいると、こんな風になりたいって思うじゃないですか。目標を持つと、頑張ることが苦ではなくなる。それを子どもたちに体験してほしいんです」

スポンサー集めに1,000通以上のメールを送り、企画書を片手に数えきれないほど企業を回った浦本さんもまた、夢のためなら頑張ることを苦にしない。「アスリートと共に五輪に行って金メダルを獲る」という夢に向かって自分磨きを続けています。

YouTubeチャンネル「アスリートの声」▶



KANSAI SOCCER FESのホームページ▶



KANSAI SOCCER FES 2022から。次回は今年4～5月ごろ開催予定



夢・キタ・ひと

⑪

柔道整復師
浦本学さん

北区の魅力は? 人と人がつながる出会いの街